

「第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞 発表・表彰式」
の実施について

一般財団法人地域政策研究会は、前兵庫県知事 故貝原俊民氏（当研究会前理事長）が生前志した「美しい兵庫づくり」に寄与する有意義な活動を行い、今後一層の活躍が期待される個人や団体を対象に「貝原俊民美しい兵庫づくり賞(貝原賞)」を昨年7月に創設しました。

今年度第2回の貝原賞の表彰にあたり一般公募推薦を行い、団体26件、個人3件の応募があり、選考委員会の選考の結果、次のとおり受賞者が決まりました。

これを顕彰するため、「第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞発表・表彰式」を実施します。

1. 日時 平成29年11月22日(水) 18時～20時
2. 場所 ホテルオークラ神戸 1階 曙の間
3. 表彰受賞者

佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ
平成15年編成 活動歴 14年

特定非営利活動法人 ブレインヒューマニティー
平成6年設立 活動歴 23年

コウノトリ湿地ネット
平成19年発足 活動歴 10年

石井 布紀子（特定非営利活動法人 さくらネット代表理事）
昭和41年1月生 51歳 活動歴 22年

4. 出席者（主な予定者）

(一財)地域政策研究会理事長 貝原 俊也
選考委員会 委員長 五百旗頭 真（ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長）
委員 井戸 敏三（知事）
委員 高士 薫（神戸新聞社代表取締役社長）
神戸都市問題研究所理事長 新野 幸次郎（神戸大学名誉教授）
県立芸術文化センター芸術監督 佐渡 裕

その他、受賞者に協力された皆様、故貝原俊民氏と生前ご厚誼のあった方々が多数出席されます。

5. 貝原賞の概要等

(1) 趣旨・内容

別添「貝原俊民美しい兵庫づくり賞の概要」のとおり

(2) 選考基準等

- ・兵庫県内の個人、団体又は兵庫県にゆかりのある個人、団体であること。
- ・活動歴が概ね10年以上で、個人については概ね55歳以下であること。
- ・顕著な活動を行い、今後も一層の活躍が期待されること。

(3) 本年5月15日から7月14日までの間、一般公募推薦により募集したところ、29件（団体26、個人3）の応募があった。

(4) この事業は、選考委員会に諮るまでの事務を（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構に委託している。

一般財団法人 地域政策研究会

当研究会は、美しい兵庫をつくるため、政策に関する調査研究等の諸事業を行い、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に、前知事 故貝原俊民氏により平成23年7月1日に設立した。

事務所所在地 神戸市中央区栄町通4丁目2番18号 キンキビル6階
電話 078(362)1456

理事長 貝原 俊也

*当研究会は、先の公益法人制度改革を受けて、故貝原俊民氏が長年理事長を務めた財団法人兵庫地域政策研究機構の諸事業をすべて引き継ぎ、運営している。

貝原俊民美しい兵庫づくり賞（通称 貝原賞）の概要

1 趣旨

故貝原俊民氏は知事として、また知事退任後もライフワークとして次のことに取り組んだ。

- ①成長から成熟へ転換する時代背景のもと、県民の自由な発想による県民運動を基軸に「こころ豊かな兵庫」をめざした県政を推進し、生活創造を基調とする「美しい兵庫」、「自由で調和ある自律社会」の実現。
- ②阪神・淡路大震災からの「創造的復興」を推進し、震災の経験と教訓を生かし日頃から減災の取り組みを進め、災害後の復旧復興の道筋を準備する「災害文化」をひろめる防災減災社会の構築。
- ③地方自治の第一人者として活躍し、官主導中央集権体制から民自律地方分権体制へ構造改革を先導するとともに、地域課題の調査研究・提言や若手研究者への支援など生涯にわたった地方自治の発展振興。

こうした氏の志を受け継ぎ活躍し、地域社会に貢献することが期待される個人または団体を対象に賞を贈ることにより、兵庫の発展に寄与する。

2 対象

兵庫県内又は兵庫県にゆかりの個人及び団体で、貝原俊民氏がめざした美しい兵庫づくりに寄与する次の分野で活躍し、今後も一層の活躍が期待される者。

- ①共に生きる地域づくり(教育・文化、生活や福祉、環境の保全・創造などに関する活動等)
- ②安全安心なまちづくり(防災文化の高揚、防災減災社会の構築、防犯、交通安全活動等)
- ③地方自治の振興(地方自治の振興に関する研究や取組等)

3 選考

県、市町、関係団体及び公募による推薦等に基づき、選考委員会で選定し、理事長が決定。

〈選考委員〉

兵庫県(知事)、市町の代表(市長会会長、町村会会長)、学識経験者((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)、経済界の代表(県商工会議所連合会会頭・県商工会連合会会長)、労働界の代表(日本労働組合総連合会兵庫県連合会会長)、言論界の代表(神戸新聞社社長)

4 表彰

受賞者(毎年3件程度)に、賞状及び副賞(個人50万円、団体100万円)を授与。

5 スケジュール

5月～7月	県、市町、関係団体及び公募による推薦募集
9月	選考委員会の開催
11月	表彰式

6 実施主体

(一財)地域政策研究会

※選考委員会に諮るまでの事務は「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」が受託実施。